



2026年2月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年1月13日

上場会社名 株式会社MS & Consulting 上場取引所 東
 コード番号 6555 URL <https://www.msandc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 秀敏
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役会長兼経営管理本部長 (氏名) 並木 昭憲 TEL 03(5649)1185
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	1,895	3.1	136	190.1	135	196.6	95	171.4	96	173.6	93	323.9
2025年2月期第3四半期	1,839	12.6	47	358.0	45	375.1	35	433.9	35	404.6	22	625.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2026年2月期第3四半期	円 銭 22.57	円 銭 22.57
2025年2月期第3四半期	8.68	8.67

(注) 2026年2月期第3四半期の希薄化後1株当たり四半期利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、基本的1株当たり四半期利益と同額を記載しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2026年2月期第3四半期	百万円 3,613	百万円 2,839	百万円 2,879	% 79.7
2025年2月期	3,378	2,552	2,587	76.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者 に帰属する当期 利益	基本的1株當 たり当期利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,746	7.6	247	—	245	—	151	—	151	35.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① I F R Sにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

	2026年2月期3Q	2025年2月期	4,597,400株
② 期末自己株式数	97,601株	2025年2月期	561,001株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	4,239,576株	2025年2月期3Q	4,031,670株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料について)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、物価上昇分を引いた実質賃金の長期低迷によって家計消費の伸び悩みが続いていることに加え、国内企業物価や人手不足に伴う人件費の上昇などが企業経営を圧迫しており、当社の主要顧客である外食・小売などの内需型サービス産業においては、厳しい環境が続いております。

このような環境下、基幹サービスである顧客満足度調査「ミステリーショッピングリサーチ(以下「MSR」という。)」の売上収益は、前第3四半期累計期間と比較し5.2%増、SaaSは22.2%減、コンサルティング・その他(以下「コンサル」という。)は9.9%増となっております。以上の結果、売上収益で3.1%増、売上総利益が11.9%増、営業利益は190.1%増、親会社の所有者に帰属する当期利益は173.6%増となりました。

売上総利益の増加は、売上増に加え、今期の主要テーマに「全社収益性改善」を掲げて取り組んできた、「価格及び条件緩和交渉によるMSR粗利率の回復」「AI活用によるレポートチェックコストの低減」「LINE活用や新モニターサイトの継続的改善に伴うモニターアサインコストの低減」「IT構成などの見直しによるコスト抑制」が奏功し、原価率が前年同期の71.1%から68.6%に低減したことによるものです。

売上面では、MSRは海外関連調査が調査時期ズレによって停滞したものの、国内通常調査の消化が順調に進んだことにより大きく増額しております。SaaSは外食日時決算システムbindのサービス終了の影響等で減少致しました。注力分野である従業員エンゲージメント調査「チームアンケート」も調査実施時期ズレの影響を受けましたが、通期では堅調に推移しております。コンサルは若手の成長もあり、通常コンサルが1.2%増、新たな制度への対応によって支援ラインナップを拡充している補助金・助成金支援分野は147.3%増と大きく増額した一方、コストダウン商材の販売終了予定などによるマイナスも発生、傾注すべきサービス分野の取捨選択を行っております。

一方、受注高においては、大型継続案件期ズレ分の受注・増注、新規・復活案件の獲得により、前第3四半期と比較し、全体で36.4%増となっております。特にコンサルでは、補助金の採択率が順調に推移したことによる成功報酬の獲得等により前年同四半期比77.6%増となりました。

生産面では、1レポートあたり生産性の改善を継続・強化することにより、MSRの粗利率が前第3四半期累計期間と比較し4.3ポイント改善。その他、新たに引き合いが生まれている海外エリアにおけるモニター基盤やオペレーションの構築などを進めております。

管理面では、全社を挙げて生産性の向上およびコスト抑制を含めたKPI管理を徹底することによって想定以上の成果を上げており、前第3四半期累計期間と比較し、販売費及び一般管理費が3.1%減となりました。売上収益に占める原価率は、将来に向けた投資により減価償却費が増加しているものの、商品仕入・外注費などの抑制によって2.5ポイント減、同じく販管費率も減価償却費は増加しているものの、旅費交通費や各種コストダウン策の積み重ねにより1.6ポイント減となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上収益1,895,342千円(前年同期比3.1%増)、営業利益135,961千円(前年同期比190.1%増)、税引前四半期利益134,789千円(前年同期比196.6%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益95,695千円(前年同期比173.6%増)となりました。

なお、当社グループはミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、主に営業債権及びその他の債権が108,508千円、使用権資産が17,070千円減少したものの、現金及び現金同等物が326,729千円、棚卸資産が21,079千円、その他の無形資産が33,613千円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて234,865千円増加し、3,613,142千円となりました。

負債については、主に営業債務及びその他の債務が19,876千円増加したものの、借入金が27,480千円、リース負債が17,274千円、未払法人所得税等が16,353千円、その他の流動負債が11,702千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて52,691千円減少し、773,706千円となりました。

資本については、主に自己株式処分差損の計上等に伴い資本剰余金が106,353千円減少したものの、自己株式の処分による減少296,175千円、その他の資本の構成要素の増加23,417千円、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上等に伴う利益剰余金の増加78,450千円があったこと等により、前連結会計年度末に比べて287,556千円増加し、2,839,436千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ326,729千円増加し、905,659千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、282,088千円の収入(前年同期比31,469千円減)となりました。これは主に棚卸資産の増加額21,079千円があったものの、税引前四半期利益の計上134,789千円、減価償却費及び償却費の計上99,736千円、営業債権及びその他の債権の減少額110,692千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、95,104千円の支出(前年同期比5,847千円減)。これは主に資本性金融商品の売却による収入10,275千円があったものの、無形資産の取得による支出101,832千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、131,743千円の収入(前年同期比130,547千円増)となりました。これは短期借入金の純減少額27,480千円、リース負債の返済による支出25,514千円があったものの、自己株式の処分による収入183,671千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月14日の「2025年2月期 決算短信〔I F R S〕（連結）」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	578,930	905,659
営業債権及びその他の債権	454,429	345,921
その他の金融資産	500	500
棚卸資産	8,071	29,150
その他の流動資産	46,573	37,943
流動資産合計	1,088,503	1,319,172
非流動資産		
有形固定資産	31,420	26,285
使用権資産	64,855	47,785
のれん	1,825,582	1,825,582
その他の無形資産	292,196	325,810
その他の金融資産	45,636	39,418
繰延税金資産	30,085	29,090
非流動資産合計	2,289,774	2,293,969
資産合計	3,378,277	3,613,142
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	145,840	118,360
リース負債	33,262	35,274
営業債務及びその他の債務	518,439	538,315
未払法人所得税等	35,921	19,568
引当金	11,823	11,823
その他の流動負債	32,949	21,247
流動負債合計	778,233	744,587
非流動負債		
リース負債	29,075	9,789
引当金	18,576	18,590
繰延税金負債	513	740
非流動負債合計	48,163	29,119
負債合計	826,397	773,706
資本		
資本金	78,115	78,115
資本剰余金	2,041,170	1,934,817
自己株式	△358,555	△62,380
その他の資本の構成要素	△36,268	△12,851
利益剰余金	862,804	941,254
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,587,265	2,878,955
非支配持分	△35,385	△39,519
資本合計	2,551,880	2,839,436
負債及び資本合計	3,378,277	3,613,142

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上収益	1,839,231	1,895,342
売上原価	△1,307,228	△1,299,986
売上総利益	532,003	595,356
販売費及び一般管理費	△491,953	△476,524
その他の収益	7,268	17,130
その他の費用	△458	—
営業利益	46,861	135,961
金融収益	95	686
金融費用	△1,511	△1,858
税引前四半期利益	45,445	134,789
法人所得税費用	△10,339	△39,502
四半期利益	35,105	95,287
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△10,159	△91
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△10,159	△91
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△3,118	△2,670
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△3,118	△2,670
税引後その他の包括利益	△13,277	△2,761
四半期包括利益	21,829	92,526
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	34,980	95,695
非支配持分	126	△408
四半期利益	35,105	95,287
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	23,283	96,659
非支配持分	△1,454	△4,133
四半期包括利益	21,829	92,526
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	8.68	22.57
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	8.67	22.57

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2024年3月1日時点の残高	74,540	2,037,731	△364,691	△26,472	1,138,903	2,860,010	△34,013	2,825,998
四半期利益	—	—	—	—	34,980	34,980	126	35,105
その他の包括利益	—	—	—	△11,697	—	△11,697	△1,580	△13,277
四半期包括利益合計	—	—	—	△11,697	34,980	23,283	△1,454	21,829
新株の発行	3,575	3,575	—	—	—	7,150	—	7,150
自己株式の処分	—	△136	6,136	—	—	6,000	—	6,000
所有者との取引額合計	3,575	3,439	6,136	—	—	13,150	—	13,150
2024年11月30日時点の残高	78,115	2,041,170	△358,555	△38,169	1,173,883	2,896,444	△35,467	2,860,976

親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2025年3月1日時点の残高	78,115	2,041,170	△358,555	△36,268	862,804	2,587,265	△35,385	2,551,880
四半期利益	—	—	—	—	95,695	95,695	△408	95,287
その他の包括利益	—	—	—	964	—	964	△3,726	△2,761
四半期包括利益合計	—	—	—	964	95,695	96,659	△4,133	92,526
新株予約権の発行	—	—	—	5,208	—	5,208	—	5,208
自己株式の処分	—	△106,353	296,175	—	—	189,822	—	189,822
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	17,245	△17,245	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△106,353	296,175	22,453	△17,245	195,030	—	195,030
2025年11月30日時点の残高	78,115	1,934,817	△62,380	△12,851	941,254	2,878,955	△39,519	2,839,436

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	45,445	134,789
減価償却費及び償却費	79,953	99,736
金融収益	△95	△686
金融費用	961	1,214
棚卸資産の増減額（△は増加）	△4,628	△21,079
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	85,246	110,692
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	90,211	15,750
その他	25,943	△6,080
小計	323,036	334,337
利息及び配当金の受取額	95	686
利息の支払額	△962	△1,214
法人所得税の還付額	14,869	—
法人所得税の支払額	△23,481	△51,720
営業活動によるキャッシュ・フロー	313,557	282,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,915	△953
無形資産の取得による支出	△95,545	△101,832
資本性金融商品の売却による収入	—	10,275
その他	509	△2,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,951	△95,104
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	18,360	△27,480
株式の発行による収入	7,150	—
新株予約権の発行による収入	—	1,066
自己株式の処分による収入	—	183,671
リース負債の返済による支出	△24,314	△25,514
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,196	131,743
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	213,803	318,727
現金及び現金同等物の期首残高	329,697	578,930
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,073	8,002
現金及び現金同等物の四半期末残高	546,572	905,659

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、ミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。